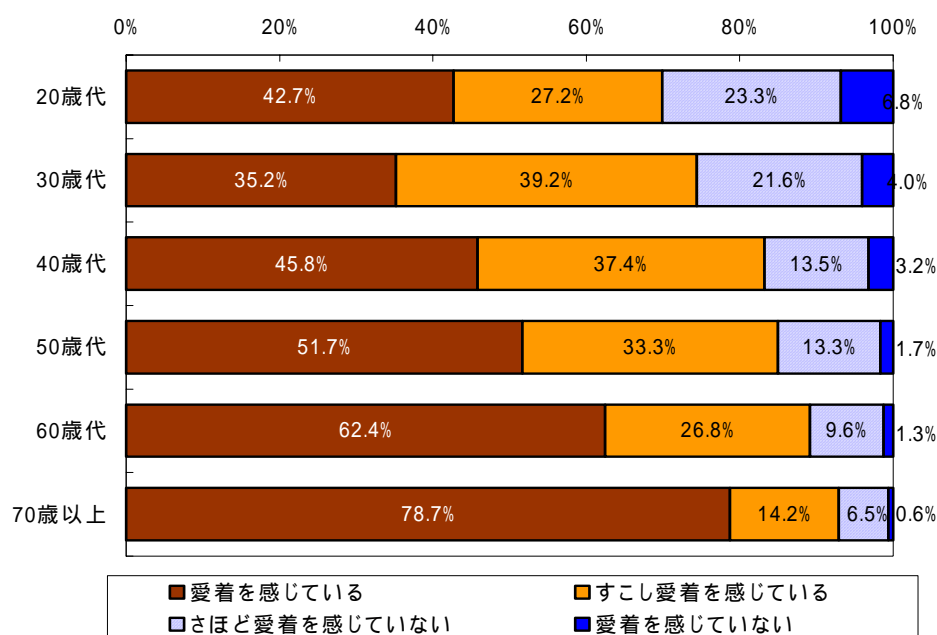


第5章 年齢別クロス集計結果

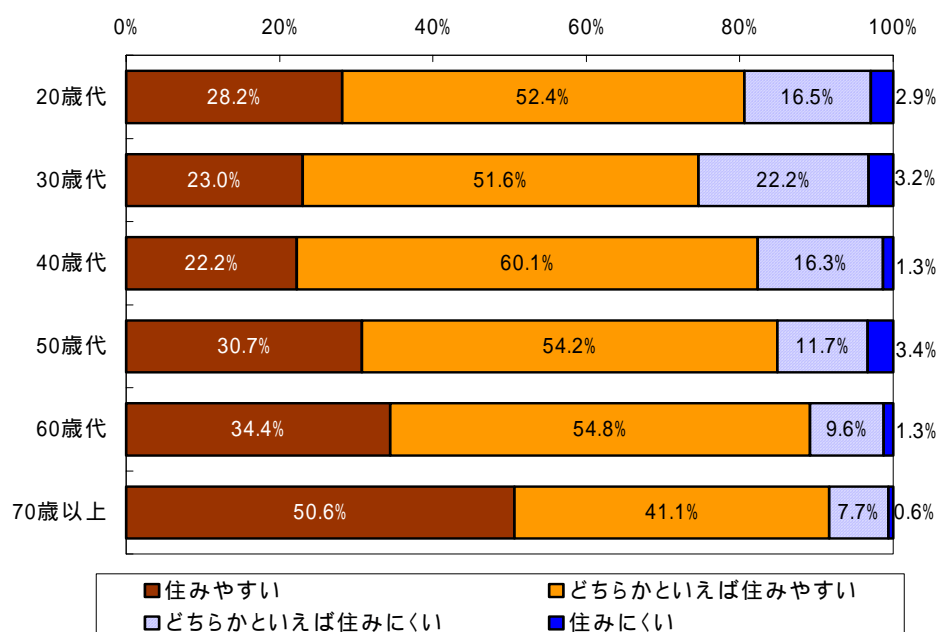
(1) 年齢別クロス集計 問6「高根沢町に対する愛着」

高根沢町に対する愛着は、「30歳代」以上では、年齢が上昇するにつれて「愛着を感じている」割合が高くなる傾向が見られた。



(2) 年齢別クロス集計 問7「高根沢町の住み心地」

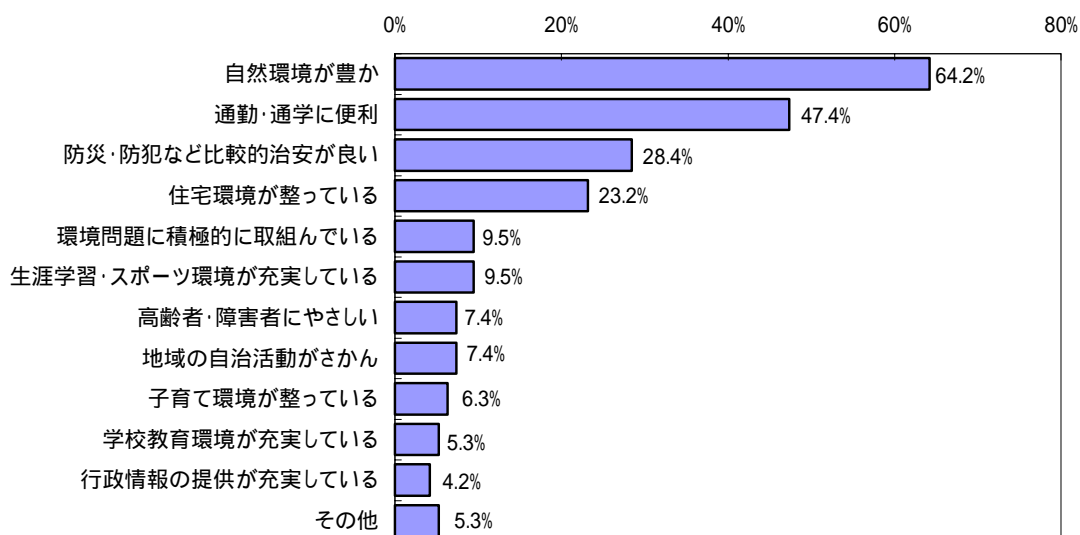
「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた肯定的な回答は、「30歳代」以上では、年齢が上昇するにつれて割合が高くなる傾向が見られた。



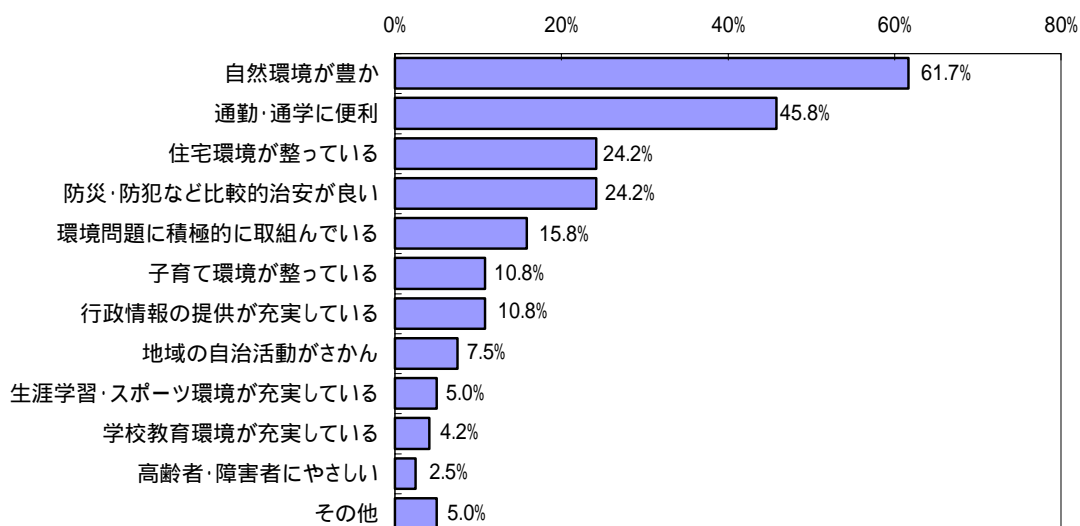
(3) 年齢別クロス集計 問 8 「住み心地が良い点」

高根沢町に対する住み心地が良い点は、各年代とも「自然環境が豊か」が第 1 位回答であり、次いで「通勤・通学に便利」「防災・防犯など比較的治安が良い」であった。

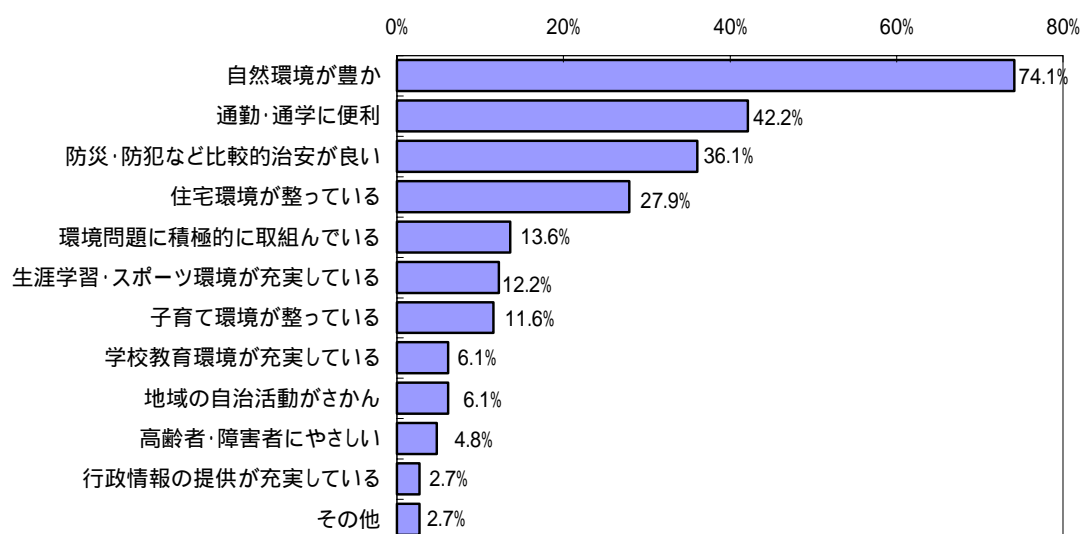
20 歳代



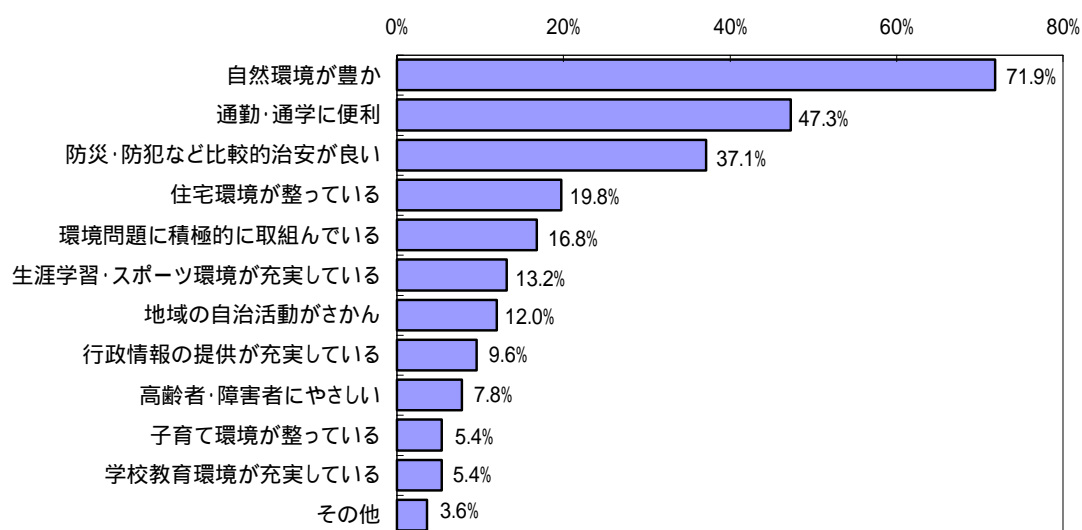
30 歳代



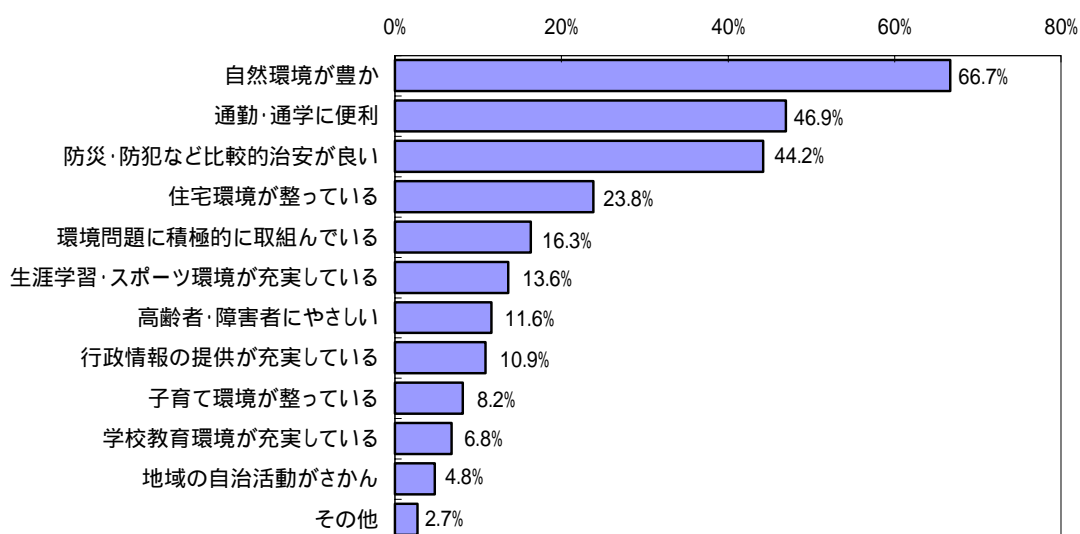
40歳代



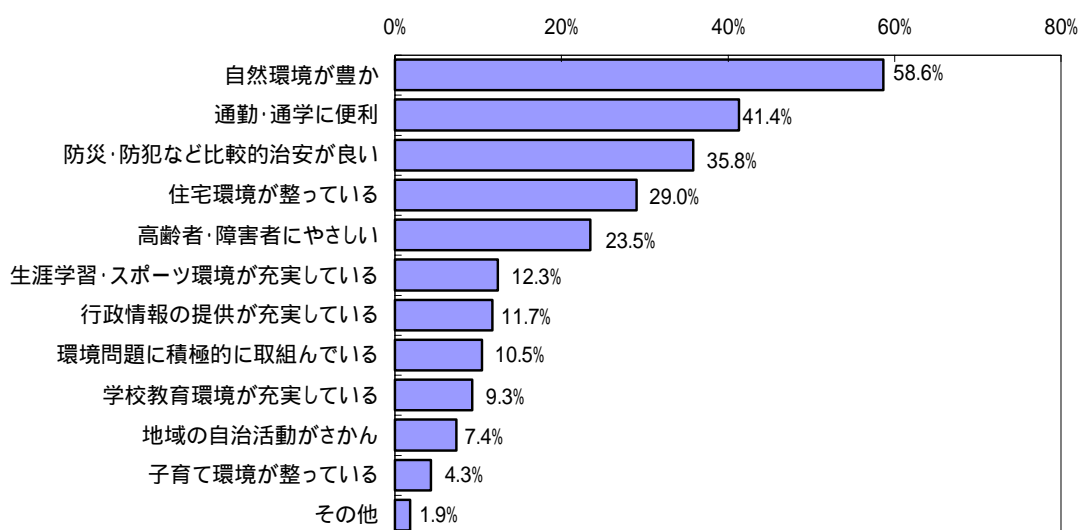
50歳代



60歳代



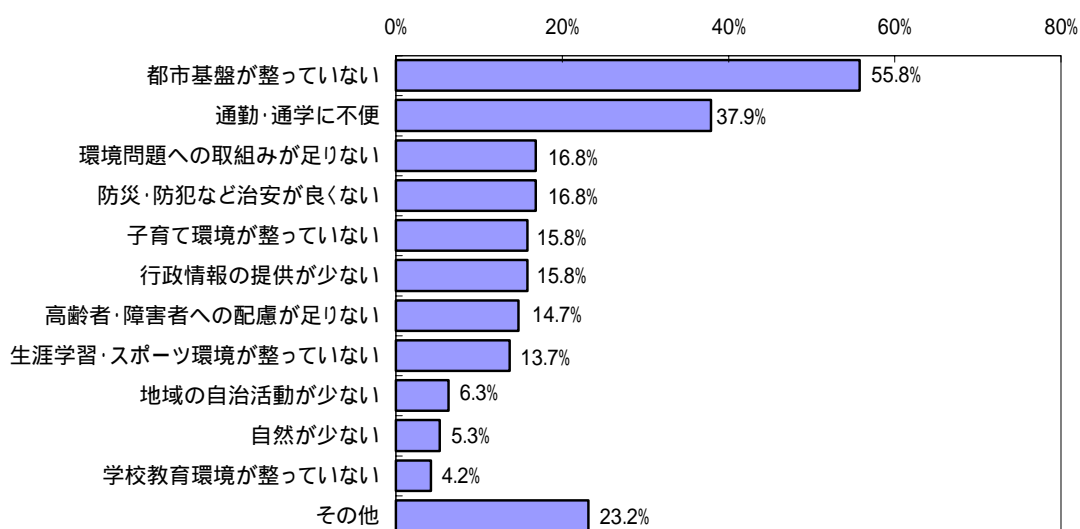
70歳以上



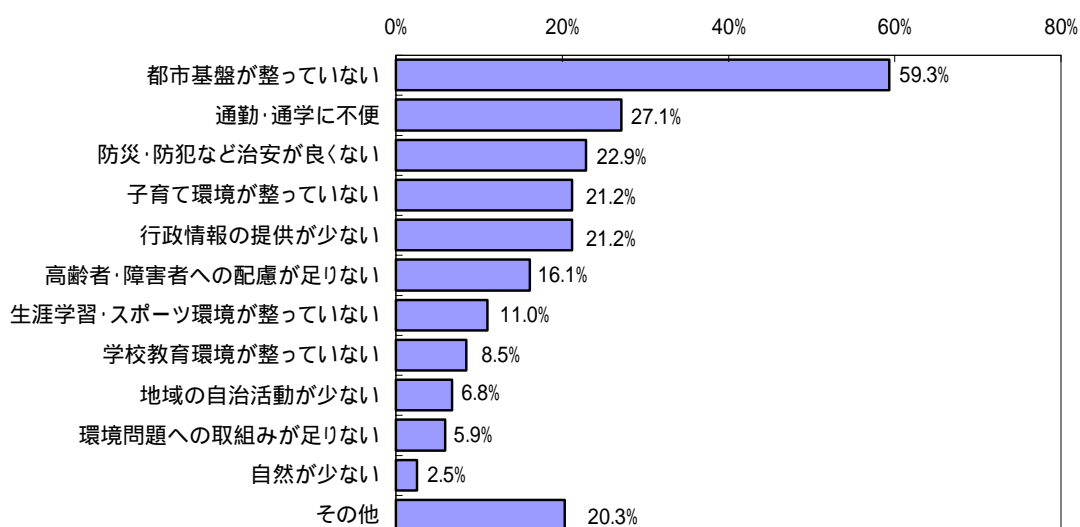
(4) 年齢別クロス集計 問 9 「住み心地が悪い点」

住み心地が悪い点は、どの年代も「都市基盤が整っていない」が第 1 位回答であった。第 2 位回答は「 2 0 歳代」「 3 0 歳代」「 4 0 歳代」では「通勤・通学に不便」、「 5 0 歳代」では「行政情報の提供が少ない」、「 6 0 歳代」「 7 0 歳以上」では「高齢者・障害者への配慮が足りない」と、年代によって差異が見られた。

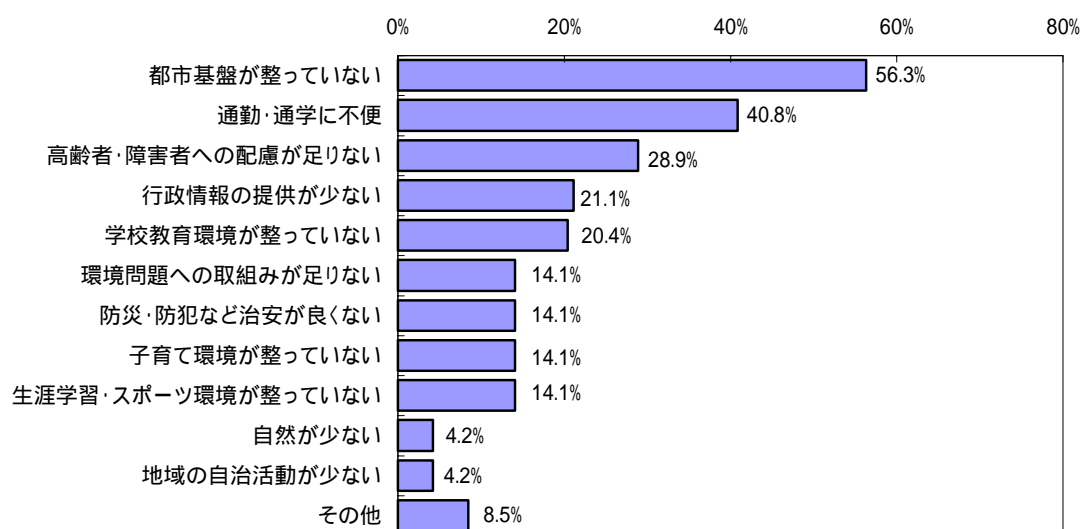
2 0 歳代



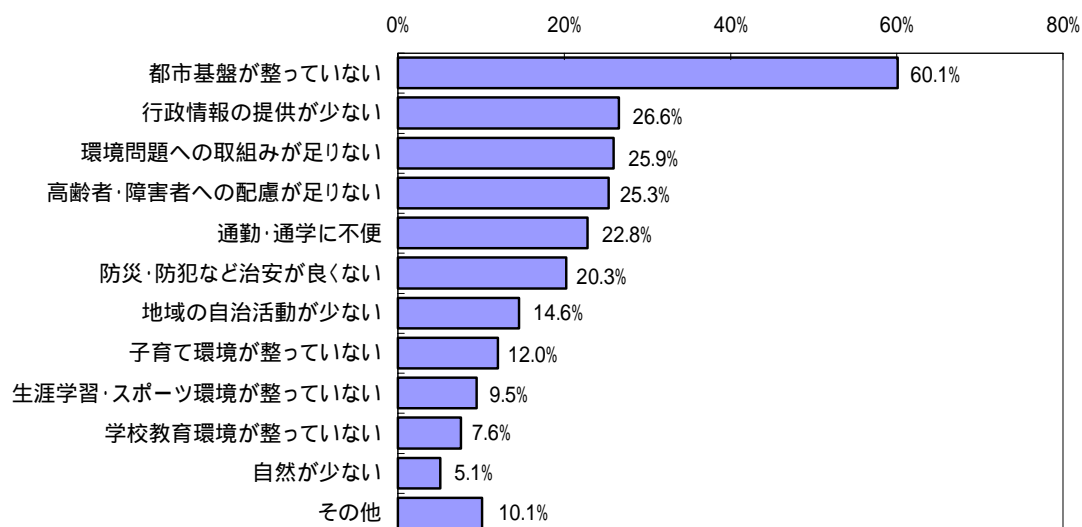
3 0 歳代



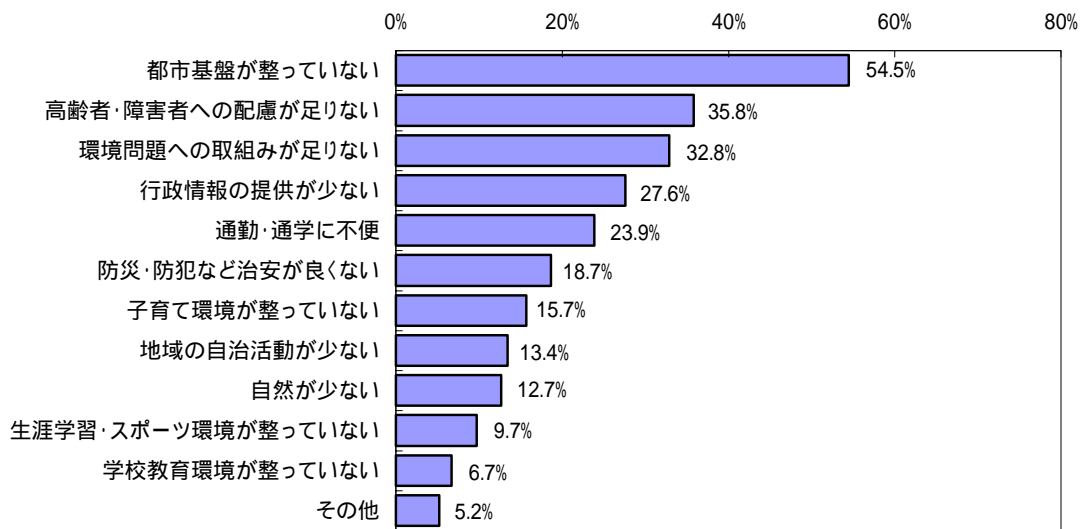
40歳代



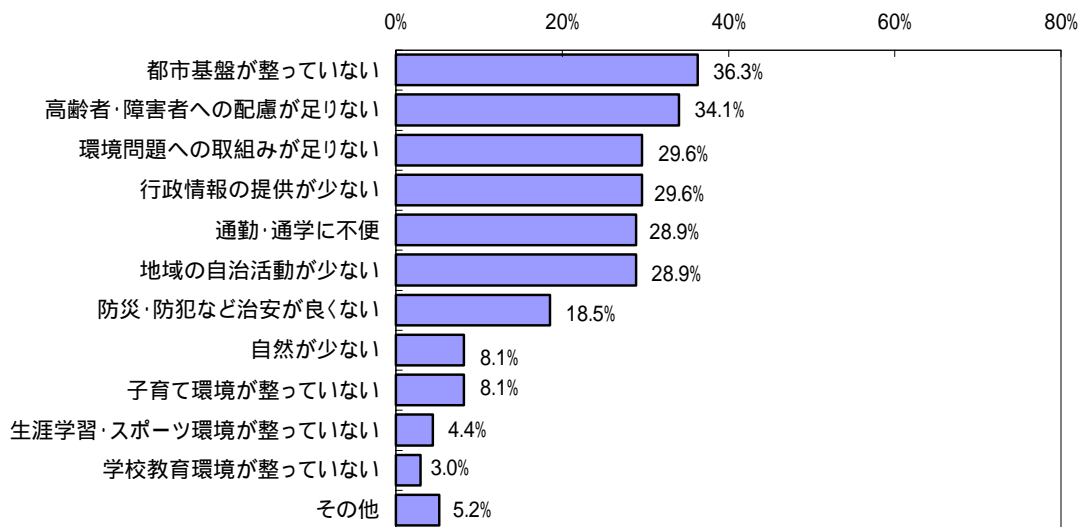
50歳代



60歳代



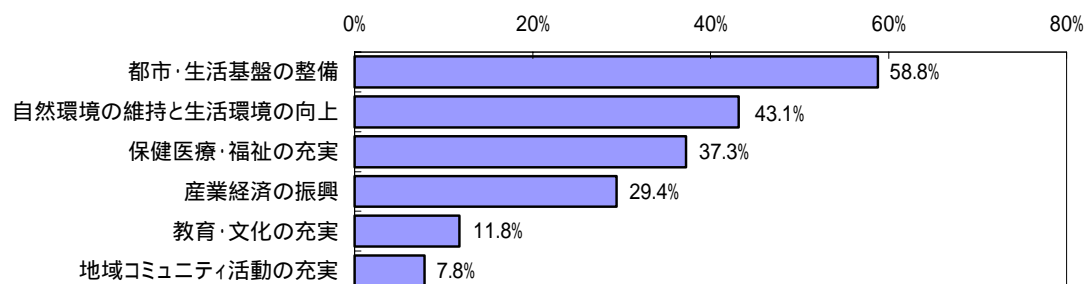
70歳以上



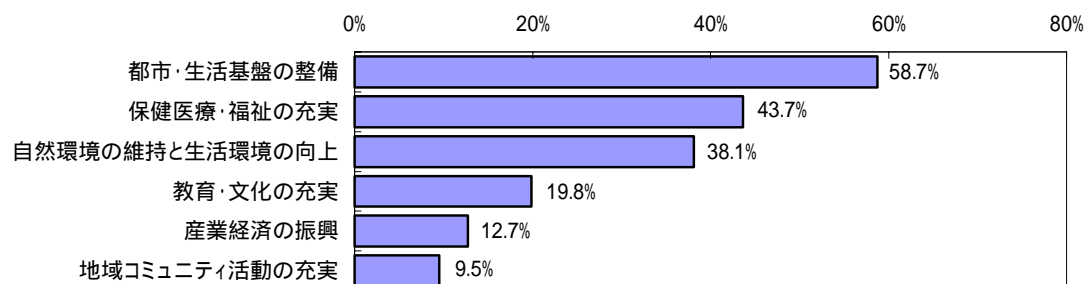
(5) 年齢別クロス集計 問 1 0 「今後優先すべき分野」

「 2 0 歳代」から「 5 0 歳代」までは、「都市・生活基盤の整備」が第 1 位回答であり、「 6 0 歳代」以上は「保健医療・福祉の充実」が第 1 位回答であった。これらの 2 つの選択肢が第 1 位、第 2 位回答を占めたが、「 2 0 歳代」だけは第 2 位回答が「自然環境の維持と生活環境の向上」であった。

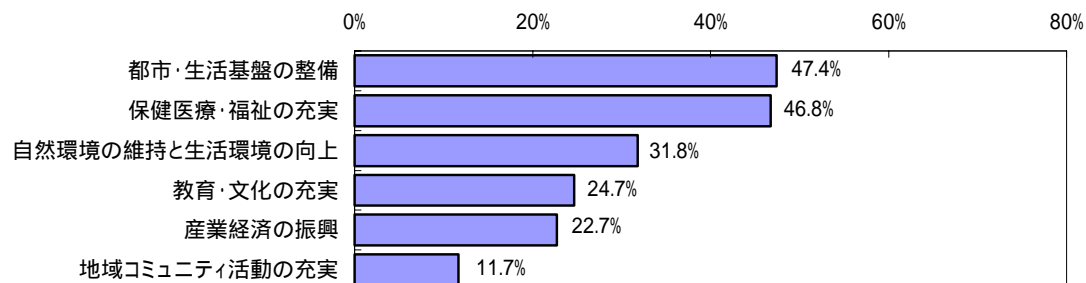
2 0 歳代



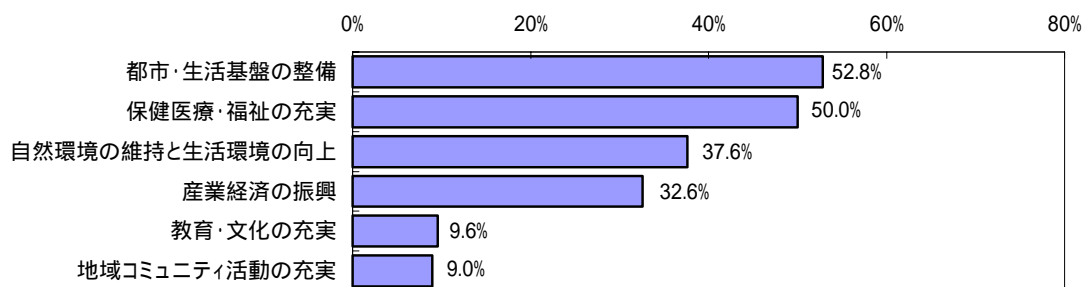
3 0 歳代



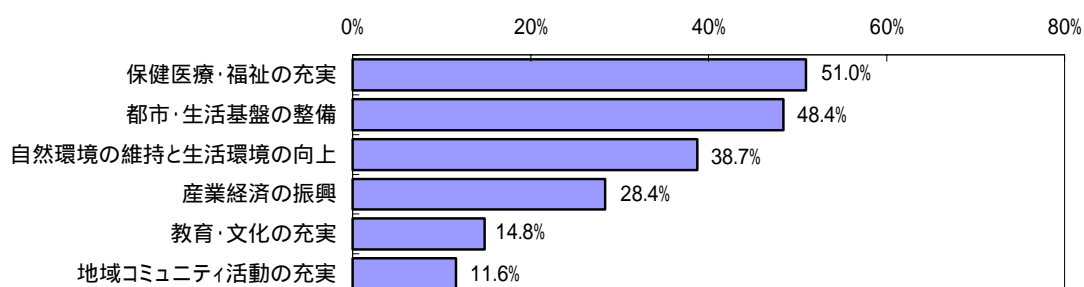
4 0 歳代



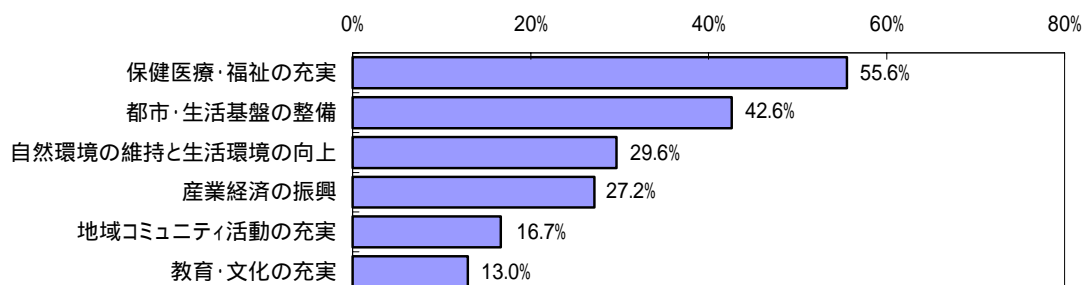
50歳代



60歳代



70歳以上



（６）年齢別クロス集計 問１１「施策の優先度」

「優先すべきである」と「やや優先すべきである」を合計した「優先」から、「あまり優先しなくてよい」と「優先しなくてよい」を合計した「非優先」を差し引き、これを優先度とみなして回答結果を把握した。６分野の年齢別「施策の優先度」は下記の結果となった。

都市・生活基盤の整備（項目１～５）

都市・生活基盤の整備の５項目は、「２０歳代」「３０歳代」「５０歳代」「７０歳以上」では「５.汚水処理の充実」「１.計画的な市街地整備」「４.良質な水道水の供給」の順番で優先度が高かった。

「４０歳代」「６０歳代」は「５.汚水処理の充実」「４.良質な水道水の供給」「１.計画的な市街地整備」の順番で優先度が高く、年齢による差異が見られた。

なお、「５.汚水処理の充実」「４.良質な水道水の供給」の割合は、「６０歳代」が他の年齢に比べて大きく上回った。

自然環境の維持と生活環境の向上（項目６～１０）

自然環境の維持と生活環境の向上の５項目は、「２０歳代」「３０歳代」「６０歳代」「７０歳以上」では「１０.防犯・交通安全対策の充実」「９.防災機能の向上」「７.リサイクルの推進」の順番で優先度が高かった。

「４０歳代」では「１０.防犯・交通安全対策の充実」「９.防災機能の向上」「６.自然環境の保護」の順番で優先度が高かった。また、「５０歳代」では「１０.防犯・交通安全対策の充実」「７.リサイクルの推進」「９.防災機能の向上」の順番で優先度が高く、年齢による差異が見られた。

なお、「１０.防犯・交通安全対策の充実」の割合は、「６０歳代」と「７０歳以上」が他の年齢に比べて大きく上回った。

保健医療・福祉の充実（項目１１～１５）

保健医療・福祉の充実の５項目は、「２０歳代」では「１４.子育て支援策の充実」「１３.障害者福祉の充実」「１２.高齢者福祉・介護支援の充実」の順番、「３０歳代」では「１４.子育て支援策の充実」「１２.高齢者福祉・介護支援の充実」「１３.障害者福祉の充実」の順番、「４０歳代」と「７０歳以上」では「１２.高齢者福祉・介護支援の充実」「１３.障害者福祉の充実」「１４.子育て支援策の充実」の順番で優先度が高かった。

また、「５０歳代」では「１２.高齢者福祉・介護支援の充実」「１４.子育て支援策の充実」「１１.健康づくりの推進」の順番、「６０歳代」では「１２.高齢者福祉・介護支援の充実」「１１.健康づくりの推進」「１４.子育て支援策の充実」の順番で優先度が高く、年齢に応じて優先度は異なった。

「30歳代」では「14.子育て支援策の充実」の割合が他の年齢に比べて最も高く、逆に「11.健康づくりの推進」の割合は最も低かった。「60歳代」と「70歳以上」は、「12.高齢者福祉・介護支援の充実」をはじめとして、全項目とも優先度が高かった。

この「保健医療・福祉の充実」分野の平均優先度は、他の分野に比べて、「30歳代」を除く全ての年代でも最も高かった。

教育・文化の充実（項目16～20）

教育・文化の充実の5項目は、「20歳代」では「17.健全な青少年の育成」「16.学校教育・教育環境の充実」「20.生涯スポーツの充実」の順番、「30歳代」と「40歳代」では「16.学校教育・教育環境の充実」「17.健全な青少年の育成」「18.生涯学習の充実」の順番、「50歳代」「60歳代」「70歳以上」では「17.健全な青少年の育成」「16.学校教育・教育環境の充実」「18.生涯学習の充実」の順番で優先度が高かった。

なお、各年代とも、「16.学校教育・教育環境の充実」「17.健全な青少年の育成」の優先度は他の項目を大きく上回った。

産業経済の振興（項目21～25）

産業経済の振興の5項目は、「20歳代」では「25.雇用機会の提供」「23.商業振興」「21.農林業振興」の順番、「30歳代」では「23.商業振興」「25.雇用機会の提供」「21.農林業振興」の順番で優先度が高かった。「40歳代」「50歳代」「60歳代」では「25.雇用機会の提供」「23.商業振興」「22.工業振興」の順番、「70歳以上」では「25.雇用機会の提供」「21.農林業振興」「22.工業振興」の順番で優先度が高かった。

「20歳代」「30歳代」では「22.工業振興」の優先度は低く、「50歳代」以降の年代で高くなった。

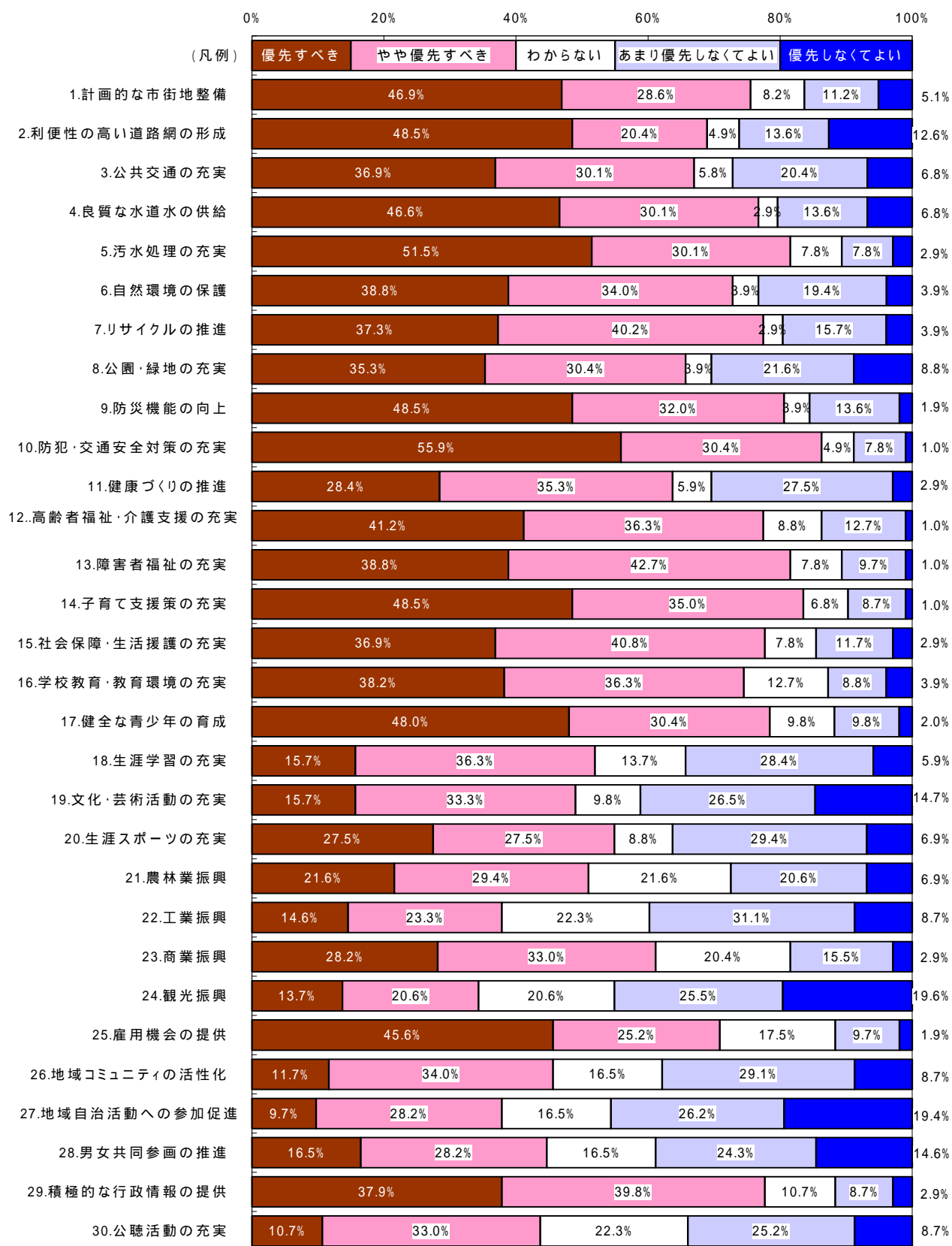
地域コミュニティ活動の充実（項目26～30）

地域コミュニティ活動の充実の5項目は、「20歳代」と「40歳代」では「29.積極的な行政情報の提供」「30.公聴活動の充実」「26.地域コミュニティの活性化」の順番で優先度が高かった。「30歳代」「50歳代」「60歳代」では「29.積極的な行政情報の提供」「26.地域コミュニティの活性化」「30.公聴活動の充実」の順番、「70歳以上」は「29.積極的な行政情報の提供」「26.地域コミュニティの活性化」「27.地域自治活動への参加促進」の順番で優先度が高かった。

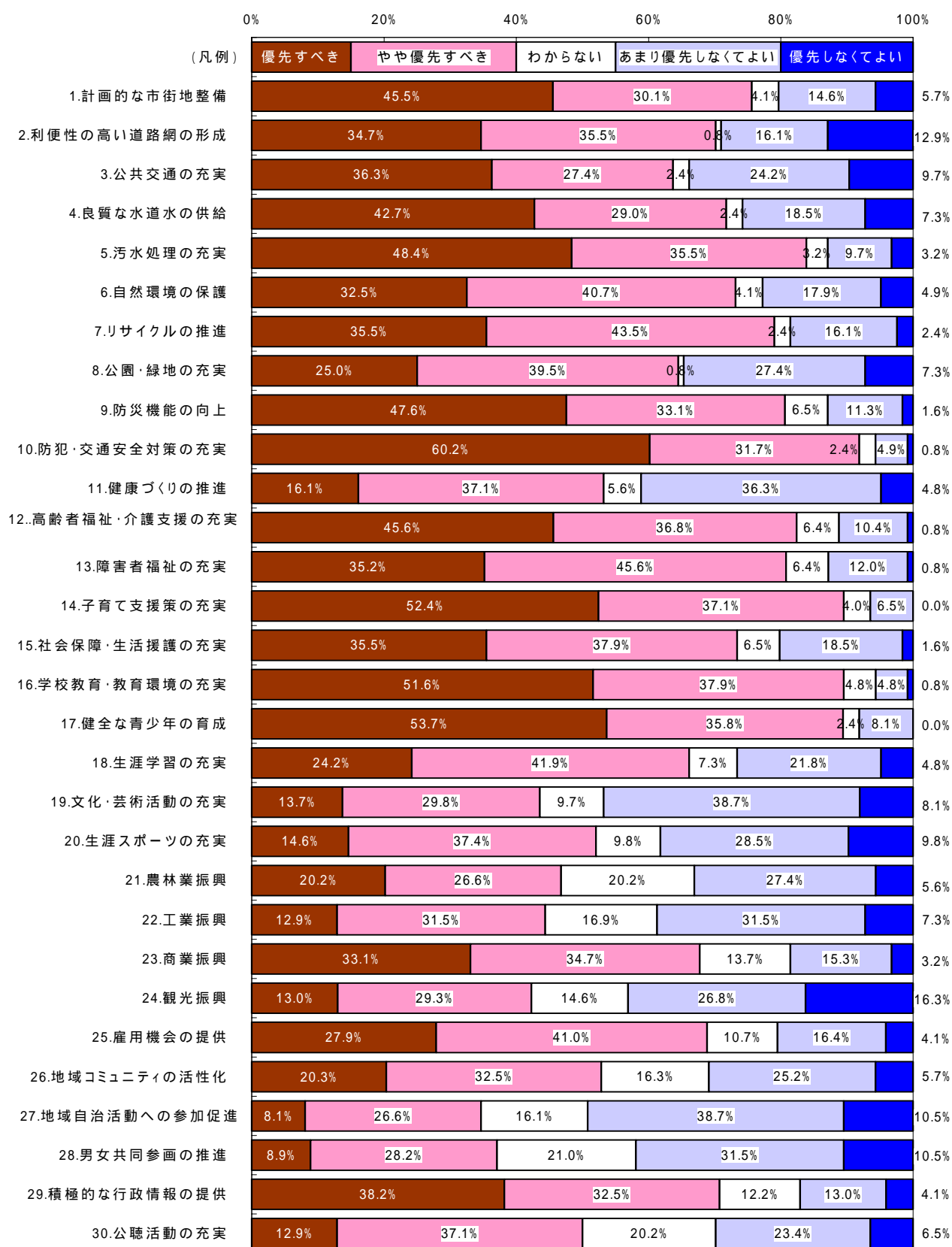
「30歳代」「40歳代」では、「27.地域自治活動への参加促進」「28.男女共同参画の推進」の優先度が他の項目を大きく下回り、マイナスであった。

この「地域コミュニティ活動の充実」分野の平均優先度は、どの年代も他の分野に比べて最も低かった。

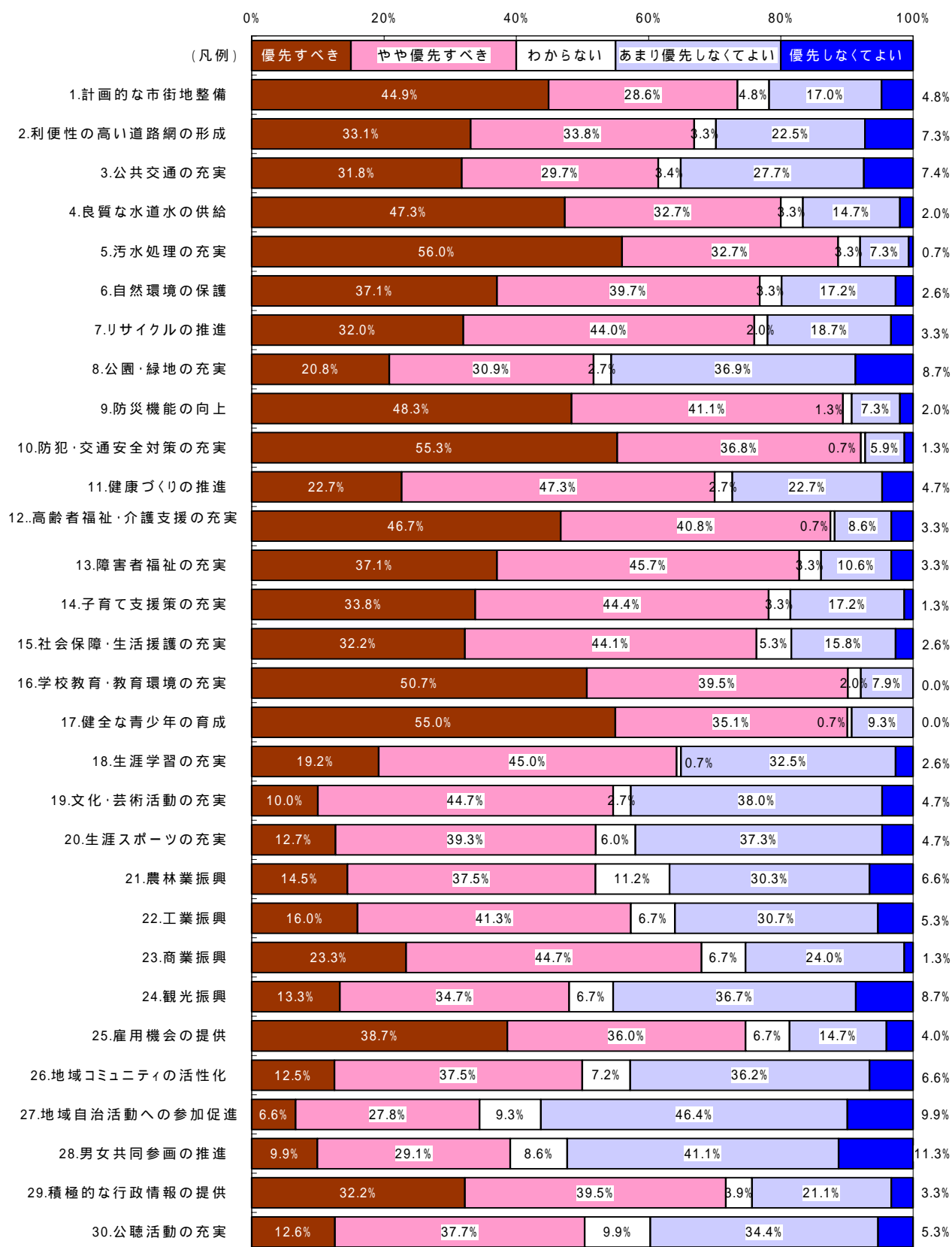
20歳代の「施策の優先度」



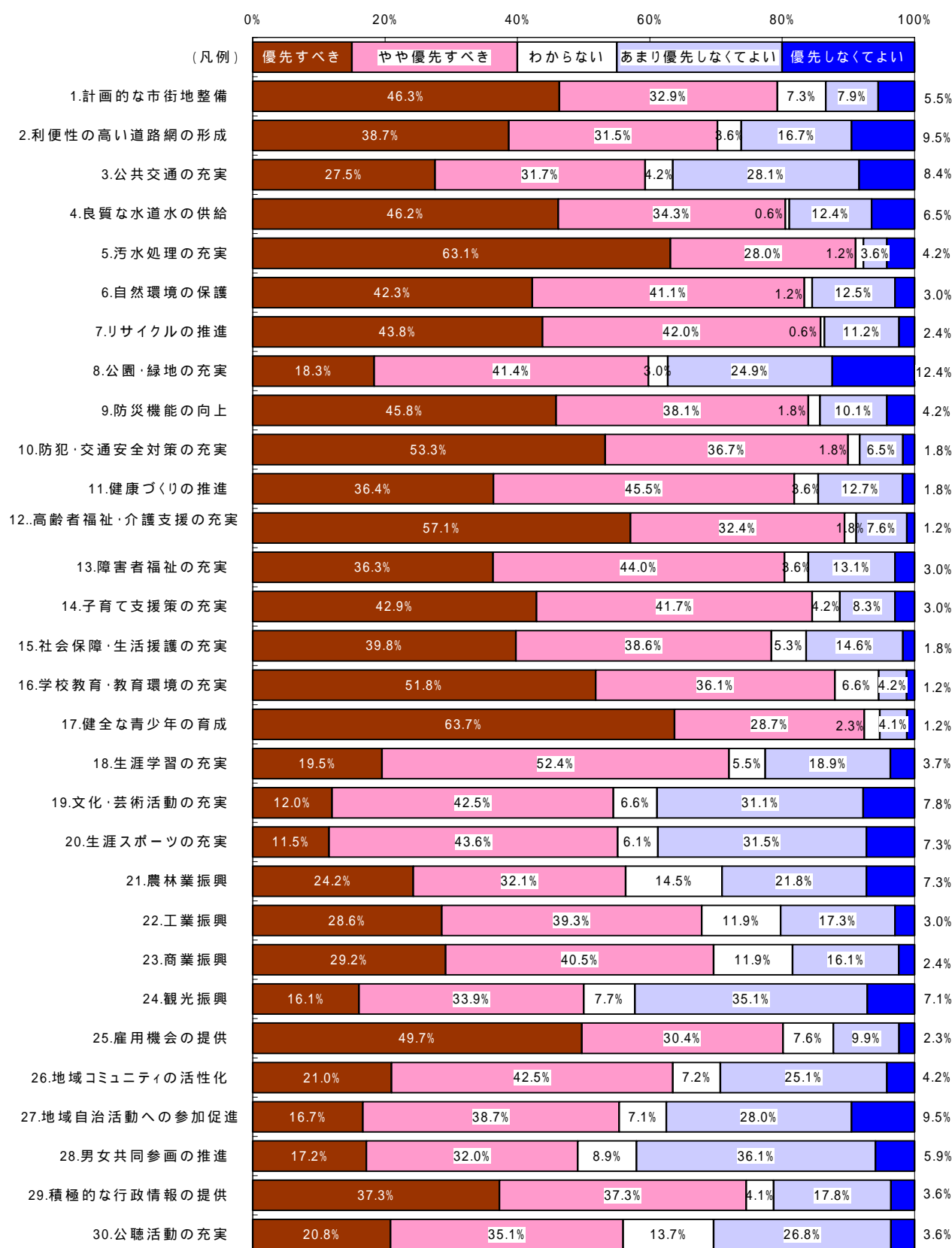
30歳代の「施策の優先度」



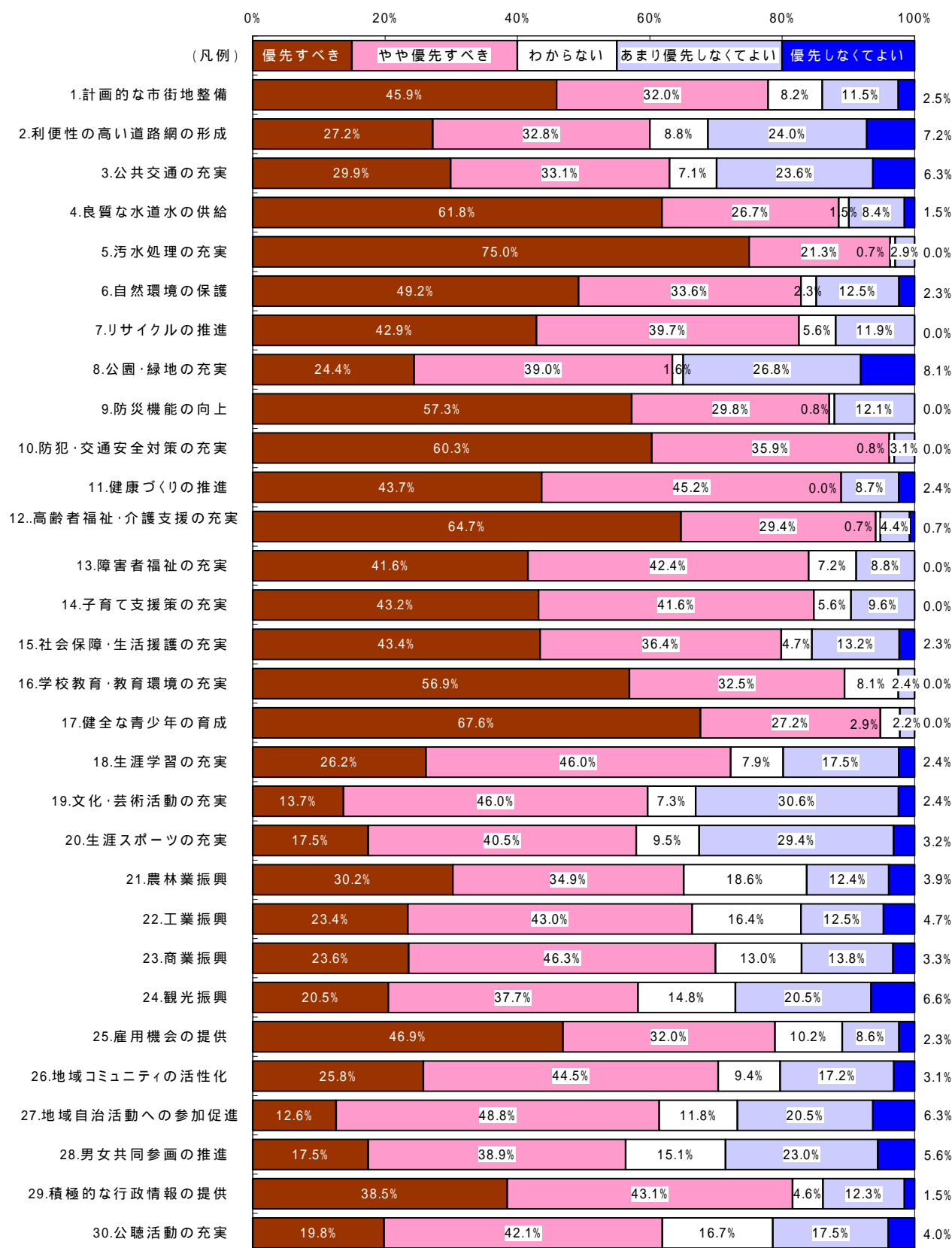
40歳代の「施策の優先度」



50歳代の「施策の優先度」



60歳代の「施策の優先度」



70歳以上の「施策の優先度」

